



**iVMS-4500 (iOS)
モバイルクライアントソフトウェア**

ユーザーマニュアル(V4.2)

UD.6L0202D2114A01

COPYRIGHT ©2017 GRASPHERE JAPAN Co., Ltd.

ALL RIGHTS RESERVED.

文章、画像、図表を含むすべての情報は、GRASPHERE JAPAN Co., Ltd. またはその子会社（以下、「GRASPHERE JAPAN」とする）の所有するものとします。本ユーザーマニュアル（以下、「本マニュアル」とする）は、GRASPHERE JAPAN の事前の書面による許可なく、部分的または全体的にかかわらず再生産、変更、翻訳または配布できないものとします。それ以外規定されていない場合、GRASPHERE JAPAN は、マニュアルに関して、明示または黙示のいかなる保証、保証または表明を行いません。

本マニュアルについて

本書は iVMS-4500 モバイルクライアントソフトウェアに適用されます。

本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明だけを目的としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されるものとします。最新版は企業ウェブサイト (<http://www.graspHERE.com/>) でご確認ください。

プロの指導の下で本ユーザーマニュアルをご利用ください。

商標に関する確認

GRASPHERE およびその他 GRASPHERE JAPAN の商標およびロゴは、国や地域に関係なく GRASPHERE JAPAN の所有物です。以下に示されたその他の商標およびロゴは、各権利保有者の所有物です。

免責事項

適用法により許容される範囲内で、記載の製品とそのハードウェア、ソフトウェアおよびファームウェアは、あらゆる誤謬やエラーを含め、そのままの形で提供されるものとし、GRASPHERE JAPAN では明示黙示を問わず一切の保証（商品性、十分な品質、特定の目的の適合性および第三者の権

利非侵害を含むがそれだけに限定されない) を行いません。GRASPHERE JAPAN およびその取締役、役員、従業員または代理人は、たとえ GRASPHERE JAPAN がこのような損害に関して忠告を受けていても、本製品に関連する事業利益の損失や事業妨害、データや書類の損失に関する損害を含む特別、必然、偶発または間接的な損害に対して一切の責任を負いません。

インターネットアクセスを伴う製品に関して、当該製品の一切の使用はお客様自身の責任によるものとします。GRASPHERE JAPAN は、異常操作、プライバシー漏えいまたはサイバー攻撃、ハッキング、ウィルス検査やその他のセキュリティリスクから生じるその他の損害に対して一切の責任を負わないものとします。ただし、必要に応じて GRASPHERE JAPAN は適宜技術サポートを提供します。

監視に関する法律は裁判管轄地域によって異なります。本製品のご使用前に、使用地の裁判管轄地域におけるすべての関連法を確認して、必ず適用法に準拠するかたちで使用してください。本製品が不正な目的で使用された場合に、GRASPHERE JAPAN は責任を負わないものとします。

本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、より新しいほうを優先します。

目次

第 1 章	緒言	4
1.1	概要	4
1.2	システム要件	4
1.3	コンベンション	4
第 2 章	ソフトウェアのインストールとアンインストール	6
2.1	ソフトウェアのインストール	6
2.2	ソフトウェアのアンインストール	6
第 3 章	ソフトウェアの実行	7
3.1	範囲の選択	7
3.2	パスワード保護	8
3.3	インターフェイスの概要	9
第 4 章	デバイス管理	11
4.1	デバイスの追加	11
4.2	デバイスの変更	19
4.3	デバイスの削除	20
第 5 章	ライブビュー	21
第 6 章	遠隔再生	31
第 7 章	アラーム管理	35
第 8 章	画像&ビデオ管理	38
第 9 章	クラウドサービス	44
第 10 章	システム設定	48
付録		53

第1章 緒言

1.1 概要

iOS (バージョン 7.0 以上) を基に iPhone 向けに設計された iVMS-4500 (iOS) モバイルクライアントソフトウェアを使用すると、埋め込み型 DVR、NVR、ネットワークカメラ、ネットワークスピードドーム、エンコーダーからのライブビデオをワイヤレスネットワーク経由で遠隔地からモニターしたり、録画ファイルを再生したり、ローカルに保存したり、写真やビデオを管理したり、アラーム通知やアラーム情報を管理したり、アラーム出力を制御したり、PTZ コントロールを実現することができます。

さらに、iVMS-4500 ソフトウェアは、クラウドサービスに、お使いのクラウドアカウントや追加デバイスを管理する方法も提供します。

このソフトウェアを iPhone にインストールすると、Wi-Fi、3G、または 4G 経由でフロントエンドデバイスにログオンできます。また、お使いのデバイスでパブリック IP が利用できない場合には、ダイナミックドメイン名を使用すること、またはルーターのパブリック IP にポートをマッピングすることでアクセスすることができます。

注意：

- Wi-Fi、3G、または 4G アクセスサービスは、iPhone でサポートされている必要があります。
- このクライアントソフトウェアの使用中にネットワークトラフィックの料金が発生する可能性があります。これについてはご利用の ISP に問い合わせてください。

1.2 システム要件

iPhone 4、iPhone 4S、iPhone 5、iPhone 5C、iPhone 5S、iPhone 6、および iPhone 6 Plus シリーズ製品を含む iOS 7.0 以上のバージョン。

1.3 コンベンション


説明を簡単にするため、以下の章では、「iVMS-4500 (iOS) モバイルクライアントソフトウェア」を「ソフトウェア」、「DVR、NVR、エンコーダー、ネットワークカメラ、ネ

ットワークスピードドーム」を「デバイス」とそれぞれ呼ぶことにします。




第2章ソフトウェアのインストールとアンインストール

2.1 ソフトウェアのインストール


手順：

1. アプリストアにログオンします。
2. 「iVMS-4500」を入力して、モバイルクライアントソフトウェアを検索します。
3. ダウンロードしてお使いの iPhone にインストールします。
4. ソフトウェアを正常にインストールしたら、 をクリックすると、ソフトウェアを起動します。

2.2 ソフトウェアのアンインストール

プログラムリストで  をクリックし、 に変わるまで押し続けます。 をクリックして、モバイルクライアントソフトウェアがアンインストールされます。

第3章ソフトウェアの実行

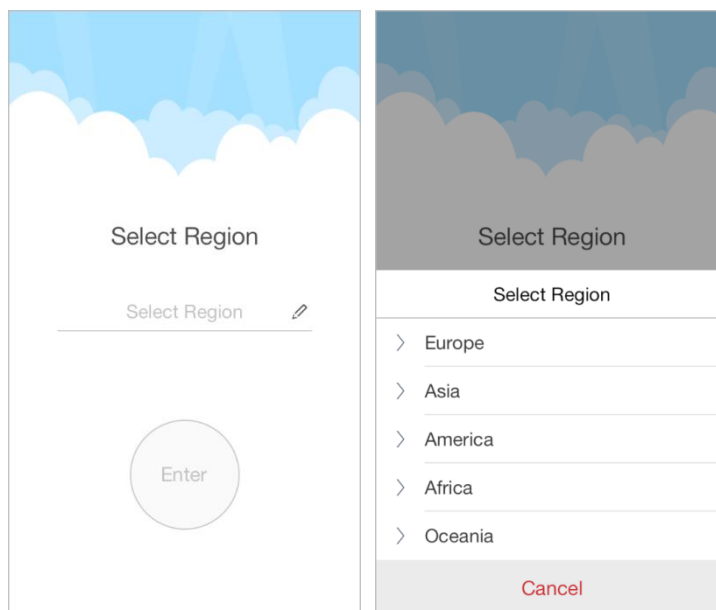
ソフトウェアを正常にインストールしたら、 をクリックしてソフトウェアを起動します。

3.1 地域を選択

iVMS-4500 ソフトウェアを初めて実行する際には、デバイスが配置されている地域を選択してください。そうしない場合、デバイスのライブビュー、再生及びアラーム通知が実行できなくなります。

手順：

1. **地域を選択**フィールドをクリックし、該当する大陸から国を選択します。



2. **入力**をクリックしてソフトウェアのメインページに入ります。


注意：その後、選択した地域を変更する必要がある場合は、「設定」ページに移動して地域を再選択してください。

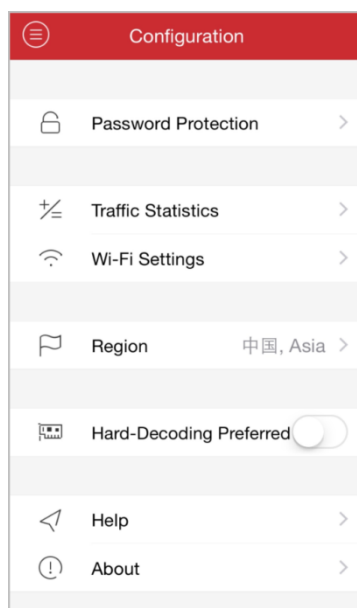
3.2 パスワード保護

パスワード保護を有効にすると、パスワードを持つユーザーのみがソフトウェアにアクセスできます。

タスク 1：パスワード保護を有効にする

手順：

1.  をクリックして**設定**を選択し、「設定」インターフェイスに入ります。



2. **パスワード保護**をクリックし、**パスワード保護**のスイッチを「オン」に設定して、「パスワード設定」インターフェイスに入ります。
3. ソフトウェアのパスワードを入力し、確認して、パスワード保護を有効にします。
次回、終了後にソフトウェアを実行する場合は、最初にログインするためのパスワードを入力する必要があります。

タスク 2：パスワードを変更する

パスワード保護をクリックし、**パスワードの変更**をクリックし、対応する情報を入力してパスワードを変更できます。

タスク 3：パスワード保護を無効にする

手順：

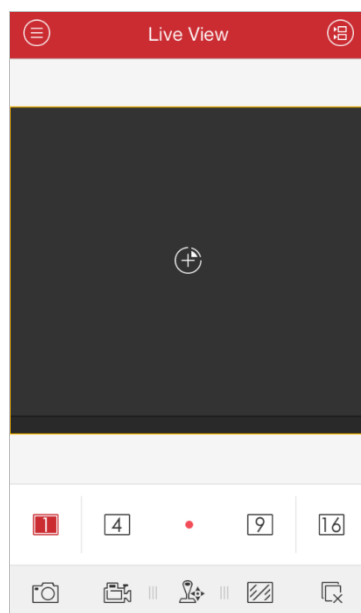
1. **パスワード保護**をクリックし、**パスワード保護**のスイッチを「オフ」に設定して、パス

ワード保護を無効にします。

2. パスワードを入力して設定を確認します。

3.3 インターフェ이스の概要

このソフトウェアには、ライブビュー、リモート再生、デバイスの管理、アラームの管理、画像とビデオ管理、クラウドの管理、設定の7つの主な機能があります。



☰ をクリックすると、インメニューが表示されます。

メインメニューの説明

メニュー	説明
ライブビュー	ライブビュー、PTZ コントロール、ローカル録画、アラーム出力コントロールなど。
リモート再生	デバイスに保存されている録画ファイルを再生します。
デバイス	デバイスリストの表示、デバイスの追加/削除/変更、デバイス情報の表示など。
アラーム	アラーム通知の有効化、アラーム情報の管理、アラームメッセージ情報の表示。
画像とビデオ	ローカルビデオファイルと画像の表示と管理。

EZVIZ クラウド P2P	クラウドアカウントの登録、クラウドへのログイン、クラウドサービスにサポートするデバイスの管理。
設定	パスワード保護と電子メールによるフィードバックの設定。 トラフィック統計の確認、Wi-Fi 設定、範囲の選択。 ライブビューまたは再生のハードウェアデコードの有効化。 ソフトウェアのバージョン情報、ヘルプファイルおよび新機能の表示。


第4章 デバイス管理

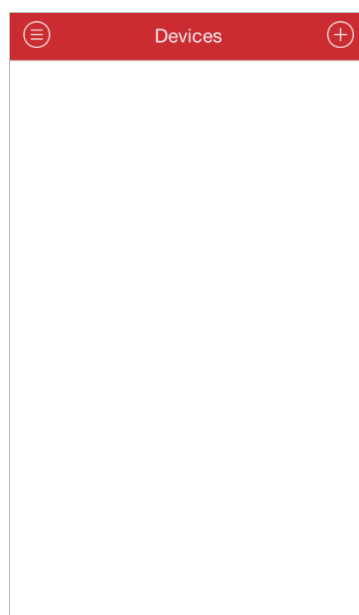
4.1 デバイスの追加

最初に、ライブビューや再生やデバイス管理などのすべての操作にアクセス可能なデバイスを追加する必要があります。

注意: デバイスを追加する前に、デバイスが配置されている範囲を選択してください。そうでない場合、デバイスのライブビュー、再生およびアラーム通知が実行できなくなります。

手順:

1.  をクリックしてデバイスを選択し、「デバイス管理」インターフェイスに入ります。



2. デバイスを追加するには4つの方法があります。

➤ 手動追加

- 1)  をクリックし手動追加を選択します。

別名: 希望に応じて、デバイスの名前を編集します。


登録モード: HiDDNS、IP/ドメイン、IPサーバーのいずれかの登録モードを選択します。

- HiDDNS : デバイスを HiDDNS サーバーに登録する際には、サーバーに登録されているデバイスドメイン名を入力する必要があります。
- IP/ドメイン : 固定 IP アドレスまたはドメイン名を通じてデバイスにアクセスすることができます。IP アドレスまたはドメインアドレスと、デバイスのポートを編集する必要があります。
- IP サーバー : IP サーバーを通じてデバイスにアクセスすることができます。IP サーバーアドレスとデバイスの識別子 (デバイス名またはデバイスシリアル番号) を設定する必要があります。


ユーザー名 : 追加デバイスのユーザー名を入力します。

パスワード : 追加デバイスのパスワードを入力します。

カメラ番号 : デバイスに接続されているカメラ番号は、デバイスの追加が成功した後に取得できます。

- 2)  をクリックして設定を確認します。

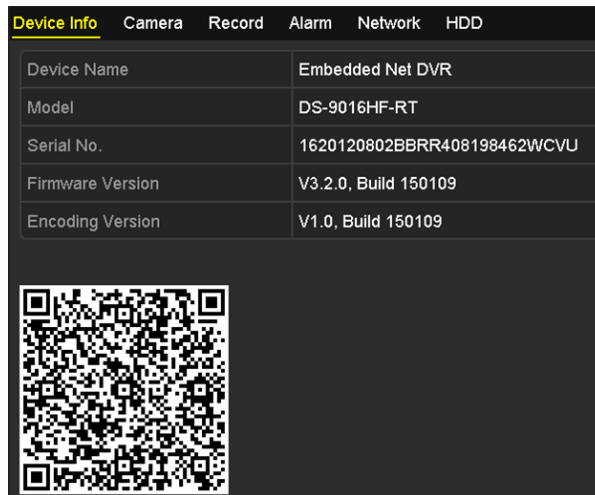
➤ QR コードのスキャン

- 1)  をクリックして QR コードのスキャンを選択します。
- 2) お使いの iPhone を使用して、追加するデバイスの QR コードをスキャンフレームに合わせてスキャンします。

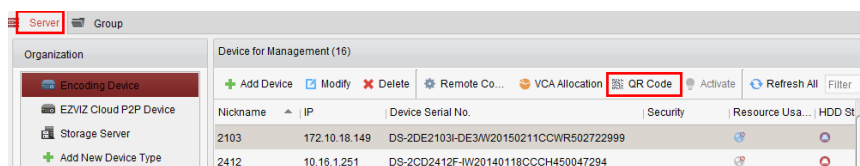
注意 : QR コードは、iVMS-4200 クラウドソフトウェア、またはデバイスの口

一カルメニューから取得できます。

デバイスのローカルメニュー：[メニュー]->[メンテナンス]->[デバイス情報]





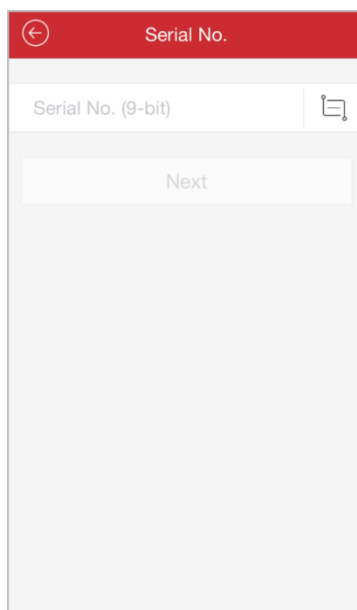
iVMS-4200 (V2.3.0.4 またはそれ以降)：「デバイス管理」モードで [サーバー] タブを選択し、デバイスをクリックして選択し、QR コードをクリックすると、デバイスの QR コードウィンドウがポップアップします。



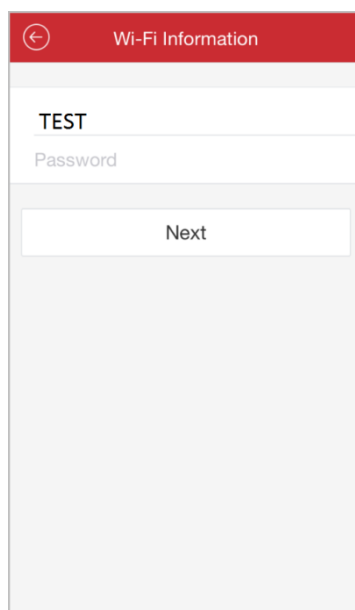
3) 識別されたデバイスを選択して追加をクリックします。

➤ **Wi-Fi 設定**

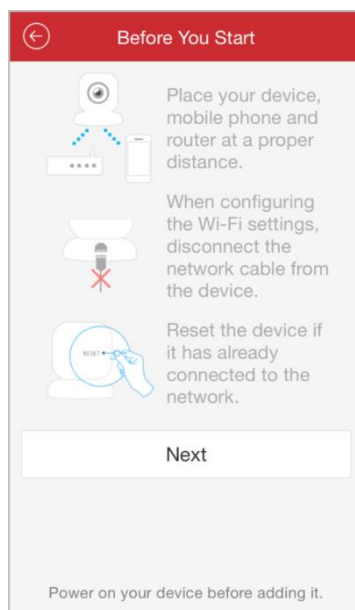
- 1)  をクリックして **Wi-Fi 設定** を選択します。
- 2) デバイスのシリアル番号 (9 桁) を入力するか、 をクリックして、携帯電話を使用して QR コードまたはバーコードをスキャンフレームに合わせてデバイスラベルのシリアル番号をスキャンします。




- 3) **次へ**をクリックし、iPhone が接続する Wi-Fi ネットワークのパスワードを入力します (必要な場合)。




- 4) **次へ**をクリックし、「開始する前に」ページに入ります。そのページのヒントに従って、追加したいデバイスを適切に配置して設定します。
- 5) **次へ**をクリックすると、デバイスが Wi-Fi ネットワークへの接続を開始します。



- 6) デバイスが Wi-Fi ネットワークに接続された後に、以下のパラメータを設定します。IP アドレスとポート番号が自動的に取得されます。
- **別名**：希望に応じて、デバイスの名前を編集します。
 - **ユーザー名**：追加デバイスのユーザー名を入力します。
 - **パスワード**：追加デバイスのパスワードを入力します。
 - **カメラ番号**：デバイスに接続されているカメラ番号は、デバイスの追加が成功した後に取得できます。

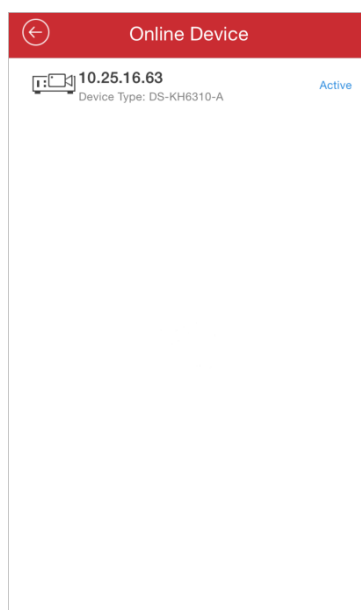
- 7)  をクリックしてデバイスを追加します。

➤ オンラインデバイスの追加

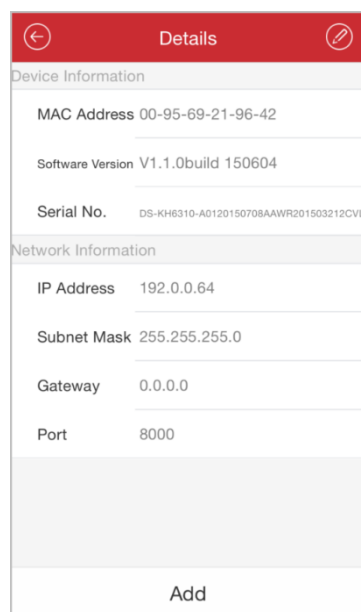
- 1)  をクリックしオンラインデバイスを選択します。
- 2) iPhone と同じローカルエリアネットワーク内のオンラインデバイスが表示されます。リストから、追加するデバイスを選択します。


注意：

- LAN 上のプライベートマルチキャストプロトコルを介してクライアントソフトウェアによって、オンラインネットワークカメラが自動検知されるように、デバイスの「マルチキャストディスバリー」機能が有効になっていることを確認してください。詳しくは、ネットワークカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 非アクティブデバイスの場合は、デバイスを正しく追加する前にパスワードを作成する必要があります。




- 3) デバイスをクリックすると、デバイス情報やネットワーク情報などのオンラインデバイスの詳細が表示されます。



 をクリックしてネットワーク情報が編集できます。


IP アドレスを手動で変更するか DHCP のスイッチをオンに設定して、デバイス IP アドレスを、お使いの iPhone と同じサブネットに変更します。

 をクリックし、デバイスの管理者パスワードを入力して、設定を保存します。

4) **追加**をクリックし、「新規デバイス」インターフェイスを開きます。

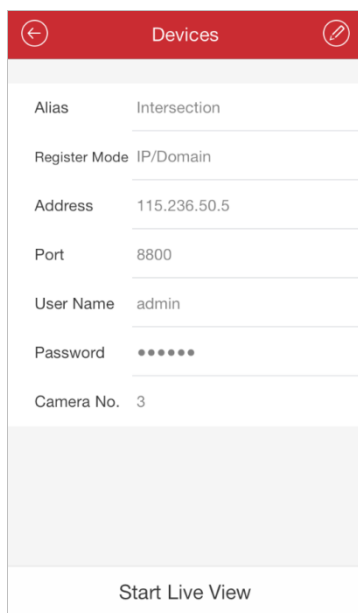
5) 必要な情報を入力します。

- **別名**：希望に応じて、デバイスの名前を編集します。
- **ユーザー名**：追加デバイスのユーザー名を入力します。
- **パスワード**：追加デバイスのパスワードを入力します。

6)  をクリックしてデバイスを追加します。


注意：

- デバイスが正常に追加された場合、ソフトウェアはカメラ情報を取得することができません。
- 最大 256 台のデバイスを追加できます。
- **ライブビューを開始する**をクリックすると、新たに追加されたデバイスが表示できます。ライブビューの詳細な操作方法については第 5 章をご覧ください。



Field	Value
Alias	Intersection
Register Mode	IP/Domain
Address	115.236.50.5
Port	8800
User Name	admin
Password	••••••
Camera No.	3

Start Live View

 をクリックし、「デバイス管理」インターフェイスに戻ります。正常に追加された新規デバイスが「デバイス管理」インターフェイスに表示されます。

パスワードの強度

デバイスが正常に追加されると、ソフトウェアは自動的にパスワードの強度を判断します。簡単に推測されるか、またはひどく脆弱なパスワードを使用すると、パスワードセキュリティが表示されます。この場合、強力なパスワードを使用してデータセキュリティを確保することを強くお勧めします。強力なパスワードの範囲は 8~16 文字で、数字、小文字、大文字、特殊文字のうち少なくとも 3 つを含む必要があります。

デバイスの有効化

手動追加やオンラインデバイスの追加の場合、追加するデバイスが有効化していなければ、デバイスをアクティブに依頼するポップアップが開きます。ウィンドウで**確認**をクリックして、デバイスをアクティベートします。


注意: デバイスに正しくアクセスする前に、デバイスを有効化する必要があります。

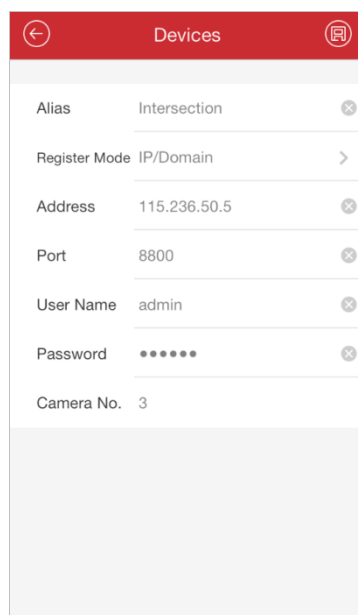
手順:

- 1) デバイスの管理者アカウントにパスワードを作成し、パスワードを確認します。ソフトウェアによって自動的にパスワード強度が判断されます。強力なパスワードを使用してデータのセキュリティを確保することを強くお勧めします。強力なパスワードの範囲は8~16文字で、数字、小文字、大文字、および特殊文字のうち少なくとも3つを含む必要があります。
- 2) **確認**をクリックしてデバイスをアクティベートします。



4.2 デバイスの変更

手順:

1. 「デバイス管理」インターフェイスでデバイスを選択し、デバイスの項目をクリックすると、そのパラメータが表示されます。
2.  をクリックすると、実際のニーズに応じてデバイスのパラメータを変更することができます。

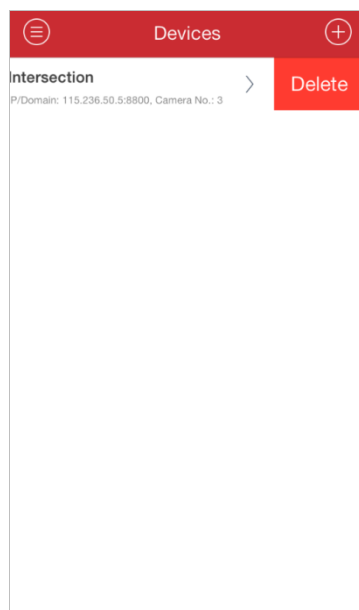


Parameter	Value	Action
Alias	Intersection	✖
Register Mode	IP/Domain	>
Address	115.236.50.5	✖
Port	8800	✖
User Name	admin	✖
Password	••••••	✖
Camera No.	3	

3.  をクリックして変更を保存します。
4.  をクリックし、「デバイス管理」インターフェイスに戻ります。

4.3 デバイスの削除


「デバイス管理」インターフェイスでデバイスを選択し、項目をスライドすると削除ボタンにアクセスします。削除をクリックすると、選択されたデバイスが削除されます。

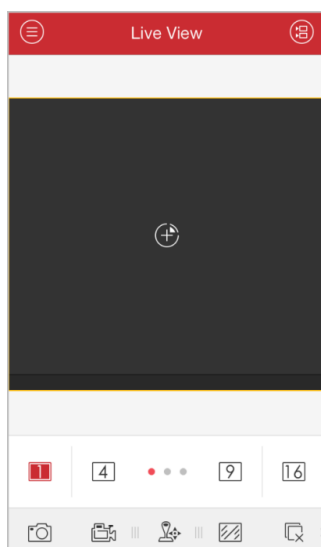


第5章 ライブビュー

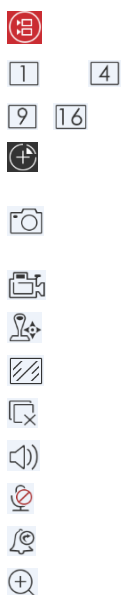
デバイスが正しく追加されると、そのデバイスからライブビデオを見たり、デバイスのアラーム出力を管理したり、PTZの動きを制御することができます。

注意：アラーム出力と PTZ 制御は、追加されたデバイスでサポートされる必要があります。

 をクリックしてライブビューを選択し、「ライブビュー」インターフェイスに入ります。デフォルトでは、画面は4分割モードで表示されます。



アイコン



説明

「カメラリスト」インターフェイスに入ります。

1/4/9/16 のウィンドウ分割。

ライブビューに使用するカメラを選択します。

選択されたライブビューウィンドウの画像をキャプチャーします。

選択されたライブビューウィンドウのビデオを録画します。

PTZ コントロールパネル。

画質パネル。

全てのライブビューを停止します。

音声コントロール。

双方向音声。



アラーム出力コントロールパネル。

デジタルズーム。

注意：アイコンツールバーをスライドすると、非表示になっているアイコンが表示されます。

ライブビューの開始



手順：

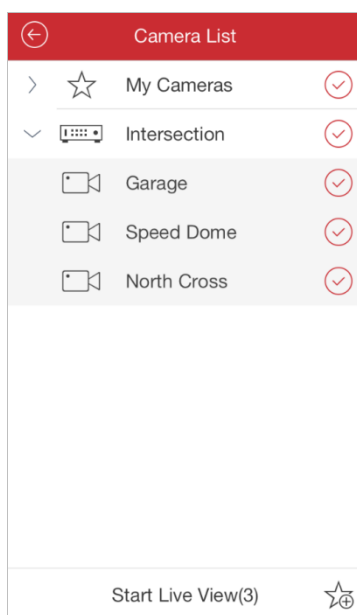
1.  をクリックして「カメラリスト」インターフェイスに入ります。デバイスノードをクリックすると、その下にある全てのカメラが一覧表示されます。(オプション) また、 をクリックすると「カメラリスト」インターフェイスに入って、ライブビューに使用するカメラを1台選択することもできます。


注意：デバイスの下にあるカメラの名称は、デバイスから取得されます。

2. デバイス項目の チェックボックスにマークを入れるとその下にあるカメラがすべて選択されます。また、カメラ項目の チェックボックスにマークを入れると希望する特定のカメラが選択されます。

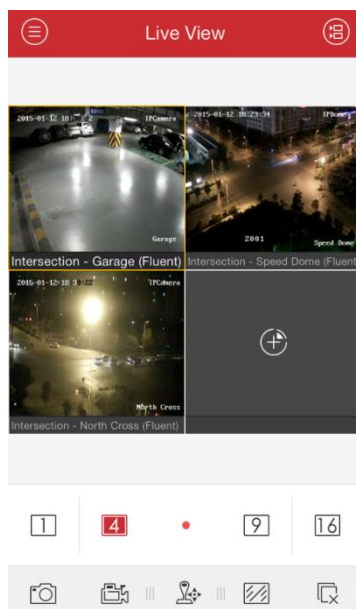
注意：

- カメラリストを下向きにスライドすると、デバイスの状態を更新することができます。
- デバイスがチャンネルゼロに対応し、そのように設定されている場合、チャンネルゼロのライブビューを選択することができます。
- デバイスの下にチャンネルが1つしかない場合は、デバイスのアイコンは  と表示されます。それ以外の場合は、 と表示されます。
- ライブビューでは、同時に16台までのカメラが選択できます。



3. **ライブビューの開始**をクリックして、選択されたカメラのライブビューが開始します。また、 をクリックすると「ライブビュー」インターフェイスに戻ります。

注意：カメラを初めてライブビューに使用するとき、サブストリームをサポートしている場合はサブストリームでライブビデオを再生し、それ以外場合はメインストリームで再生します。そうでない場合は、前回のストリームタイプで再生されます。



お気に入りの設定

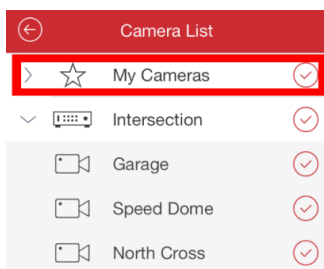
お気に入りに、頻繁に使用するカメラを追加して、カメラを便利にアクセスできます。

手順：

1. ライブビュー開始の手順 1 と手順 2 を実行して、カメラを選択します。
2. ☆ をクリックすると、「お気に入り」にカメラが追加されます。
3. ポップアップダイアログボックスにお気に入りの名称を入力します。
4. 確認 をクリックして設定を保存します。

注意：お気に入りは最大 32 個まで追加できます。

追加されたお気に入りのカメラがデバイスリストエリアに表示されます。

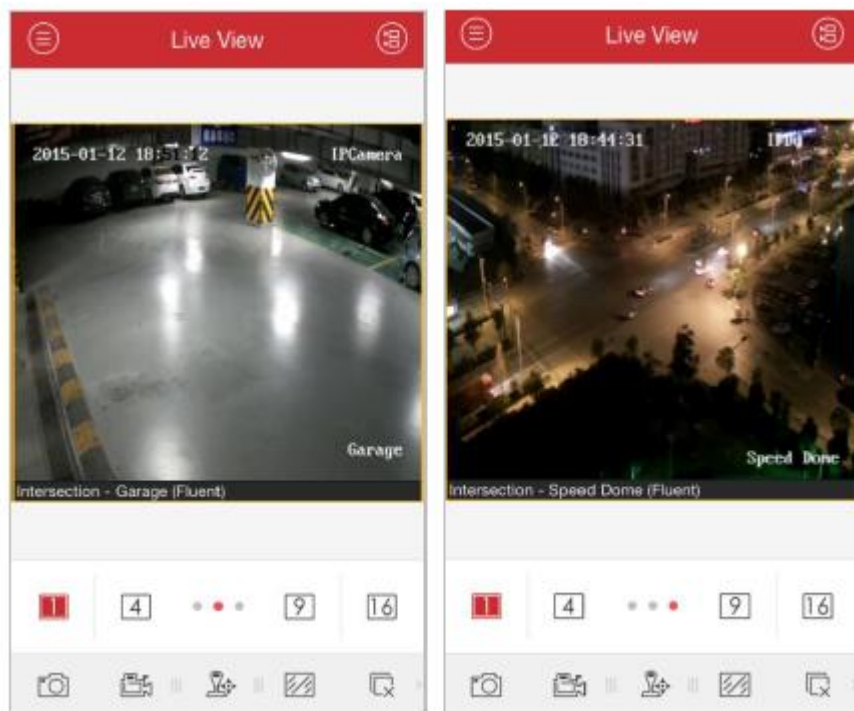


Start Live View(3) ☆

お気に入りを削除する場合は、スライドして**削除**ボタンにアクセスします。 選択したデバイスを削除するには、**削除**をクリックします。



ウィンドウ分割

1/4/9/16 をクリックすると、希望のウィンドウ分割を設定できます。複数ページの再生ウィンドウがある場合は、画面をスライドして次または前のページに移動できます。



ウィンドウのシーケンスを調整するには、ウィンドウをドラッグして移動することができます。ライブビューウィンドウをダブルクリックすると、カメラが1分割モードで表示され、再度ダブルクリックしてリストアすることができます。

録画&キャプチャー

ライブビューモードで、ライブビューウィンドウを選択し、 をクリックしてビデオを録画され、または、 をクリックしてその画像をキャプチャーすることができます。

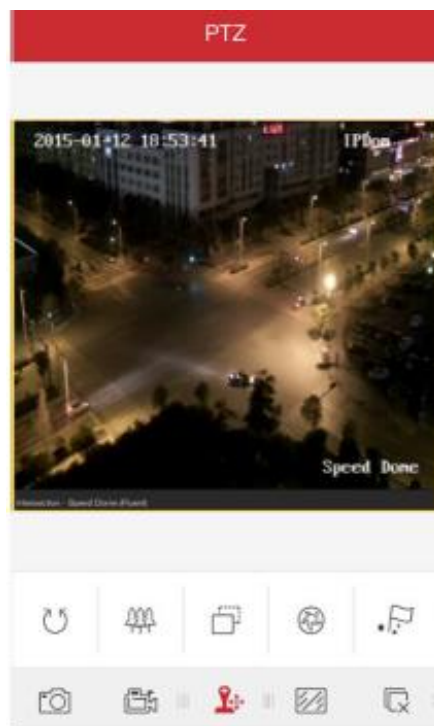
ビデオや画像は、「画像&ビデオ管理」インターフェイスで表示および管理することができます。(第8章を参照してください。)












注意: iPhone のパフォーマンスに制限があるので、ライブビューでは、同時に4台のカメラを録画しないようお勧めします。

PTZ コントロール

ライブビューモードで再生ウィンドウを選択し、 をクリックして PTZ コントロールパネルをアクティベートすると、 が  に変更されます。


注意: 追加されたデバイスが PTZ コントロールにサポートされている必要があります。ライブビューウィンドウをスライドさせると、パンの左/右とティルトの上下の動きを実現することができます。また、2本の指でズームインまたはズームアウトすることもできます。

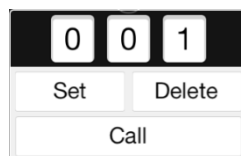


アイコン	説明
	自動スキャンの開始/停止
	ズームコントロール：  ズーム+/  ズーム-
	フォーカスコントロール：  フォーカス +/  フォーカス -
	アイリスコントロール：  アイリス +/  アイリス -
	プリセットの設定、削除、呼び出し。

プリセットの設定

手順：


1. PTZ コントロールモードでライブビューウィンドウをスライドして、希望のシーンにカメラを移動させることができます。
2.  をクリックして以下のダイアログボックスにアクセスします。




3. 番号エリアをスライドしてプリセット番号を設定します。
注意：プリセット番号は1から256の間で設定してください。
4. **設定**をクリックしてプリセットの設定を終了します。**削除**をクリックすると、プリセットを削除できます。

プリセットの呼び出し

プログラムされたプリセットの場合は、スライドしてダイアログボックスでプリセット番号を設定し、**呼び出し**をクリックして呼び出すことができます。

PTZ コントロールが終了したら、 をクリックして PTZ コントロールパネルが非表示になります。

画質

クリアと滑らかさの2種類の規定画質タイプが提供されています。また、画質をカスタマイズすることもできます。 をクリックし、お使いのネットワークや電話ハードウェアのパフォーマンスに応じて画質を調整します。

注意：

- 画質を変更すると、新しい設定により、デバイスのライブビューや録画に影響が出る可能性があります。
- EZVIZ デバイスでは、画質をクリアか滑らかさに設定できます。

画質のカスタマイズ

手順：

1. **カスタム**をクリックすると、下に示したカスタマイズされたパネルがアクティベートします。

Custom	
> Stream Type	Sub Stream
> Resolution	4CIF(704*576)
> Frame Rate	25/30
> Bitrate	512K
Confirm	

2. 実際のニーズに応じて、ストリームタイプ、解像度、フレームレート、ビットレートなどのパラメータを設定します。
3. **確認**をクリックして設定を保存します。




注意：ライブビューエフェクトは、お使いのネットワークと電話のハードウェアのパフォーマンスに関連しています。ライブビューの動きが滑らかでない場合や画面がぼやける場合は、カスタムモードでカメラの解像度、フレームレート、ビットレートを下げて、または画質を滑らかさモードに設定してください。

次の表に、iPhone5 を使用した H.264 ビデオ圧縮における様々な解像度のフレームレートとビットレート設定の推奨値が記載されています。

解像度	1 チャンネル	2 チャンネル	3 チャンネル	4 チャンネル	推奨設定
HD1080P	√				フレームレート：6fps。ビットレート：1024Kbps
UXGA	√				フレームレート：10fps。ビットレート：1024Kbps
XVGA	√				フレームレート：15fps。ビットレート：1024Kbps
HD720P	√				フレームレート：20fps。ビットレート：1024Kbps
4CIF	√				フレームレート：25fps。ビットレート：1024Kbps
VGA	√				フレームレート：25fps。ビットレート：512Kbps




CIF	✓	✓	✓		フレームレート : 25fps。ビットレート : 256Kbps
QVGA	✓	✓	✓	✓	フレームレート : 25fps。ビットレート : 128Kbps
QCIF	✓	✓	✓	✓	フレームレート : 25fps。ビットレート : 128Kbps

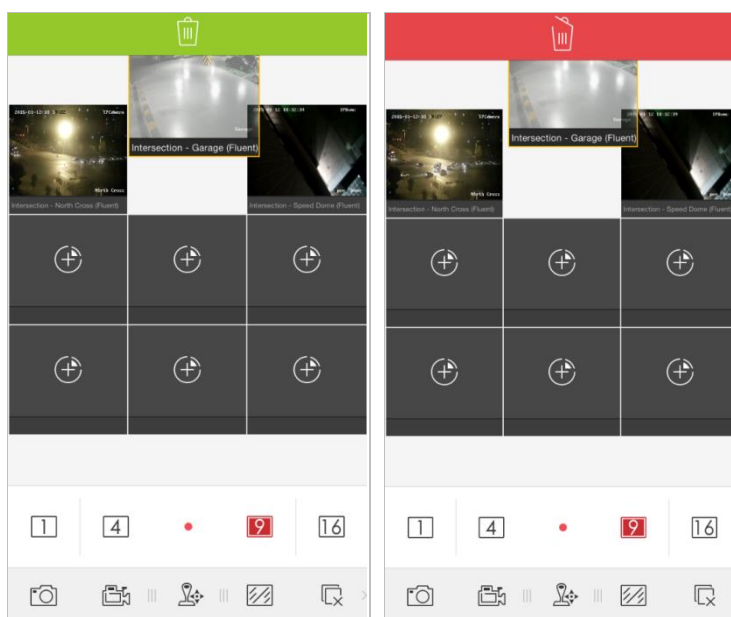
ライブビューの停止

ライブビューの動作中に  をクリックすると ( に変化する) 全てのカメラのライブビューを停止することができます。また  をクリックすると、前のライブビューを再開することができます。

もしくは、次の手順を実行して、特定のカメラでライブビューを停止することができます。

手順 :

1. ライブビューウィンドウをクリックしてホールドします。
2. ウィンドウを上向きにドラッグして、ウィンドウの上方に  が表示されます。
3.  に変わるまでウィンドウを  にドラッグし、ウィンドウを解放します。



アラーム出力コントロール

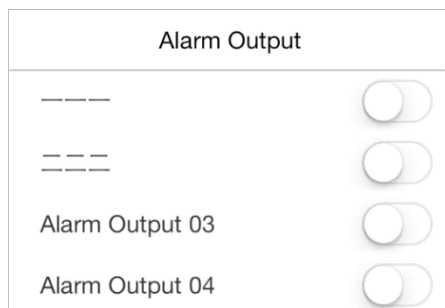
ソフトウェアで、追加デバイスのアラーム出力をコントロールすることができます。





注意 : アラーム出力はそのデバイスによってサポートされる必要があります。

手順 :

1. アイコンツールバーをスライドして、非表示のアイコンにアクセスします。

2.  をクリックしてアラーム出力コントロールパネルをアクティベートします。




3. アラーム出力  を選択し、それをクリックして  に設定し、このアラーム出力を有効化します。有効になったアラーム出力  をクリックして  に設定すると無効になります。

デジタルズーム

ライブビューの動作中にデジタルズームを実現できます。

手順：











1. 再生中のウィンドウをクリックして選択します。
2. アイコンツールバーをスライドして、非表示のアイコンにアクセスします。
3.  をクリックすると、選択されたウィンドウは1分割モードで表示されます。
4. 2本指をライブビューの画面の上に乗せ、指を広げるとズームインし、挟むとズームアウトします。また、ライブビュー画面をダブルクリックしてデジタルズームを実行することができます。

全画面ライブビュー

ライブビューの動作中に、iPhone を回転すると、全画面モードにすることができます。

注意：この機能を実現するには、iPhone の回転ロックを解除してください。非表示になった場合は、画面をタッチしてコントロールパネルをアクティベートすることができます。






アイコン	説明
	1/4/9/16 のウィンドウ分割。
	選択されたライブビューウィンドウの画像をキャプチャーします。
	選択されたライブビューウィンドウのビデオを録画します。
	PTZ コントロールパネル。
	画質パネル。
	全てのライブビューを停止。
	音声コントロール。
	双方向音声。
	アラーム出力コントロールパネル。
	デジタルズーム。

第6章 遠隔再生

追加されたデバイスに保存された録画済みのビデオファイルを検索して再生することができます。

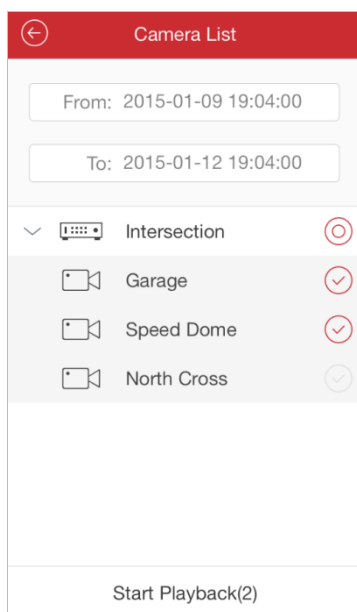
再生の開始

手順：

1.  をクリックして**遠隔再生**を選択し、「遠隔再生」インターフェイスに入ります。
2.  をクリックすると、追加されたデバイスリストが表示されます。
(オプション) また、 をクリックすると開始時刻と終了時刻を設定して、再生に使用するカメラを1台選択することができます。
3. **開始時刻**と**終了時刻**の各フィールドで開始時刻と終了時刻を設定して、検索条件を明確します。
4. デバイスノードを選択してクリックすると、その下にあるカメラが一覧表示されます。
5. デバイス項目の チェックボックスにマークを入れるとその下にあるカメラがすべて選択されます。また、カメラ項目の チェックボックスにマークを入れると特定のカメラが選択されます。

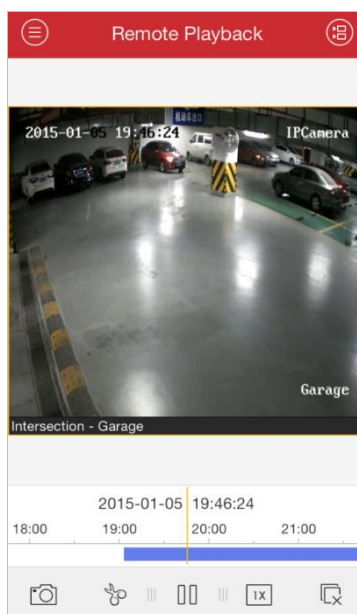
注意：

- カメラリストを下向きにスライドすると、デバイスを更新することができます。
- その期間内に録画したカメラのみ再生できます。
- 最大4台のカメラが選択して、同時に遠隔再生できます。

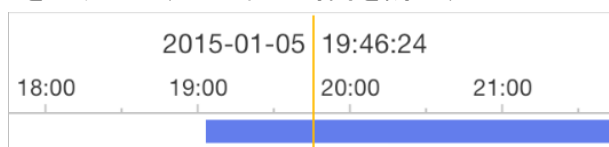









6. 再生開始をクリックして、再生を開始します。

注意: ウィンドウをドラッグして移動させると、ウィンドウのシーケンスを調整することができます。再生ウィンドウをダブルクリックすると 1 分割モードでカメラが表示され、もう一度ダブルクリックすると元に戻ります。




7. タイムラインバーをスライドすると再生時間を調整することができます。



アイコン	説明
	再生ウィンドウの画像をキャプチャーします。
	再生ビデオをクリップします。
	再生が一時停止します。
	再生速度が調整できます。
	再生を停止します。
	音声コントロール。
	デジタルズーム。




注意：アイコンツールバーをスライドすると、非表示になっているアイコンが表示されます。

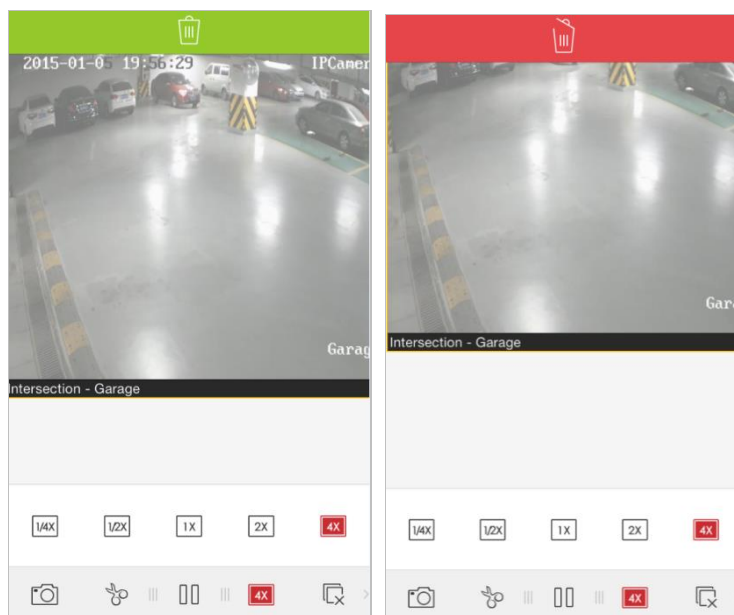
再生の停止

 をクリックすると再生を停止できます。



または、次の手順を実行して再生を停止することができます。

手順：

1. 再生ウィンドウをクリックして押したままにします。
2. ウィンドウを上向きにドラッグすると、ウィンドウの上方に  が表示されます。
3.  に変わるまでウィンドウを  にドラッグし、ウィンドウを解放します。



クリップとキャプチャー


再生中に、 をクリックすると再生ビデオをクリップすることができます。また、 をクリックすると画像がキャプチャーできます。

クリップされたビデオやキャプチャー画像は、「画像&ビデオ管理」インターフェイスで表示および管理することができます。(第8章を参照してください。)

再生速度

録画ファイルの再生速度は 1/4 倍、1/2 倍、1 倍、2 倍、4 倍に設定できます。


手順：

1. クリックして再生中のウィンドウを選択します。
2.  をクリックし、再生に対応する速度を選択します。

デジタルズーム

ビデオファイルの再生中にデジタルズームを実行することができます。

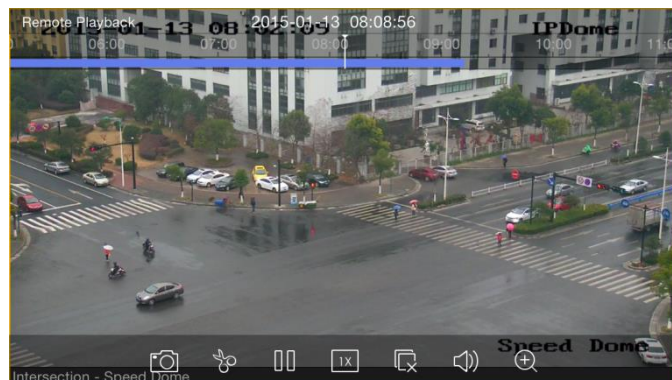
手順：

1. アイコンツールバーをスライドすると、非表示のアイコンにアクセスします。
2.  をクリックし、2 本指をライブビューの画面の上に乗せ、指を広げるとズームインし、挟むとズームアウトします。また、ライブビュー画面をダブルクリックしてデジタルズームを実行することができます。

全画面再生

ライブビューの動作中に、iPhone を回転すると、全画面モードにすることができます。

注意：この機能を実現するには、iPhone の回転ロックを解除してください。非表示になった場合は、画面をタッチしてコントロールパネルをアクティベートすることができます。



アイコン



説明

再生ビデオの画像をキャプチャーします。

再生ビデオをクリップします。

再生を一時停止します。

再生速度が調整できます。

再生を停止します。

音声コントロール。


デジタルズーム。

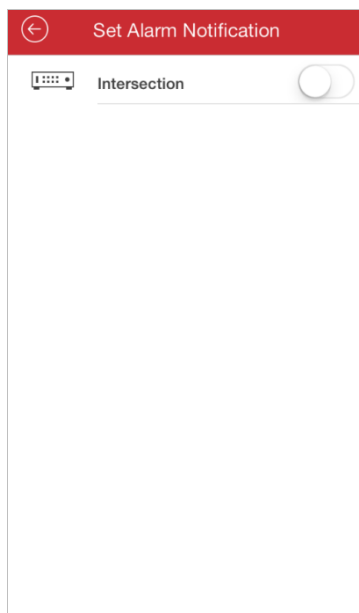
第7章 アラーム管理



「アラーム管理」インターフェイスでは、アラーム通知を有効にしたり、アラーム情報を管理したり、アラームにリンクされたビデオを表示することができます。

アラーム通知

手順：

1.  をクリックして、アラームを選択し、「アラーム管理インターフェイス」に入ります。
2. アラーム通知の設定をクリックして、「アラーム通知の設定」インターフェイスに入ります。

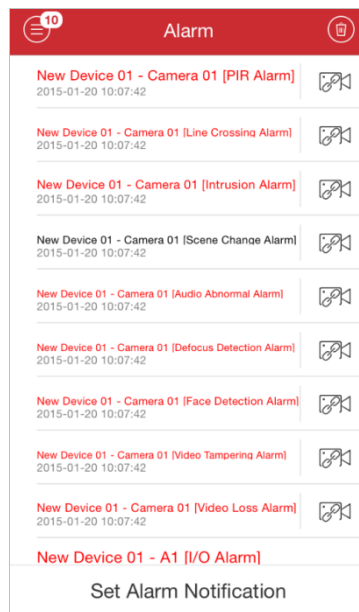



3. デバイスを選択し、 を  に設定すると、そのデバイスのアラーム通知が有効になります。このようにして、まず iPhone にアラーム情報をプッシュすることができます。
注意： デバイ스에警戒機能が装着され、アラーム通知機能に対応している必要があります。
4. 通知を受信すると、画面上部に通知が短時間表示されます。通知を無視するか、通知をクリックして直ちに対処することもできます。もしくは、通知にアラーム情報が直接表示されます。

アラーム情報

手順：

1. 「アラーム管理」インターフェイスで、受信したアラーム情報を表示できます。




2. いずれかのアラーム情報を選択して、その項目をスライドすると、削除ボタンにアクセスできます。削除をクリックすると、選択されたアラーム情報が削除されます。
3.  をクリックすると、全てのアラーム情報が消去されます。

注意：

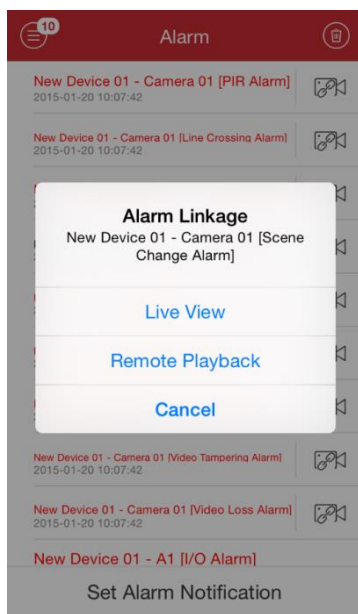
- アラーム情報リストには最大 1000 件のアラーム情報を表示することができます。
- ソフトウェアにプッシュされ、通知できるアラームには、動体検知アラーム、ビデオロスアラーム、ビデオタンパーアラーム、センサーアラーム、ラインクロスアラーム、侵入検知アラーム、顔検知アラーム、シーン変更検知アラーム、音声異常アラーム、デフォーカスアラーム、PIR アラームがあります。

アラームリンクページ

手順：

1. 「アラーム管理」インターフェイスで、いずれかのアラーム情報を選択し、 をクリックします。
2. ポップアップメッセージボックスでライブビューか遠隔再生を選択すると、動体検知、ビデオロス、ビデオタンパー、ラインクロス、侵入、顔検知、シーン変更検知、音声異常、ピンぼけ検知、PIR の各アラームを発生するカメラのライブビューや録画ファイルが表示できます。

注意： 関連録画ファイルは、アラーム発生の 30 秒前からアラーム発生後の 90 秒後まで再生されます。例：動体検知アラームが 11 時 30 分 00 秒に発生した場合、録画ファイルは 11 時 29 分 30 秒から 11 時 31 分 30 秒まで再生されます。






第8章 画像&ビデオ管理

「画像&ビデオ管理」インターフェイスでは、「ライブビューと遠隔再生」インターフェイスで手動録画（クリップ）してキャプチャーしたローカルビデオファイルと画像の表示および管理ができます。また、写真をお使いの iPhone のフォトアルバムにエクスポートして、画像や動画をメールに送信することもできます。

画像やビデオは日付順に表示されます。




フォトアルバムに画像をエクスポートするには、次の手順に従ってください。

手順：

1.  をクリックして、エクスポートする画像を選択します。
2.  をクリックして、 を選択します。
3. **確認** をクリックすると、選択された画像がフォトアルバムにエクスポートされます。




メールに画像やビデオを送信するには、次の手順に従ってください。

手順：

1.  をクリックして、送信する画像やビデオを選択します。
2.  をクリックして、 を選択します。
3. ポップアップEメールインターフェイスで、受信者のアカウントとEメールの件名を編集し、**送信** をクリックすると、指定のEメールアドレスに画像やビデオが送信されます。




画像やビデオを一括削除するには、次の手順に従ってください。

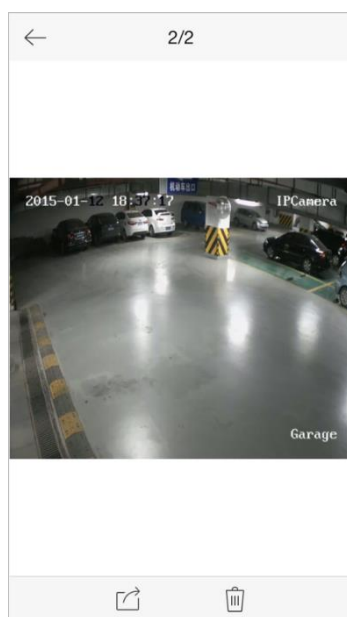
手順：


1.  をクリックして、削除する画像やビデオを選択します。
2.  をクリックすると、選択したファイルが削除されます。もしくは、 をクリックしてキャンセルします。

画像の管理

手順：



1.  をクリックして、**画像&ビデオ** を選択し、「画像&ビデオ管理」インターフェイスに入ります。
2. 画像をクリックすると、全画面で表示されます。削除する場合は、 をクリックします。画像をフォトアルバムにエクスポートして、Eメールに送信する場合は、 をクリックします。



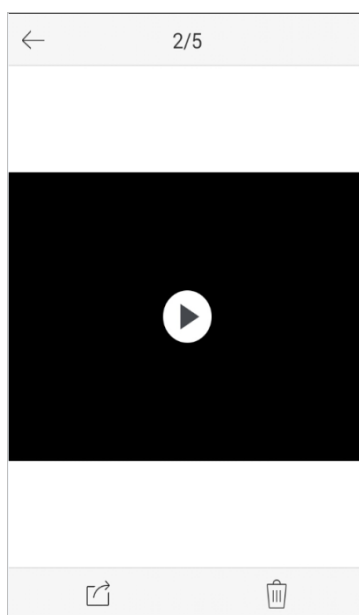
3. 2本指をライブビューの画面の上に乗せ、挟むとズームアウトし、広げると画像を拡大することができます。または、画像をダブルクリックしてデジタルズームを実行することができます。ズームインモードでスライドすると、画像を移動させることができます。
4.  をクリックすると、「画像&ビデオ管理」インターフェイスに戻ります。


ビデオの管理




手順：

1. 「画像&ビデオ管理」インターフェイスで、ビデオをクリックすると、全画面表示になります。削除する場合は  をクリックします。Eメールに送信する場合は、 をクリックします。

注意： 切り取ったビデオをフォトアルバムに書き出すことはできません。



2.  をクリックすると、再生されます。タイムラインバーをスライドして、再生時間を調整することができます。

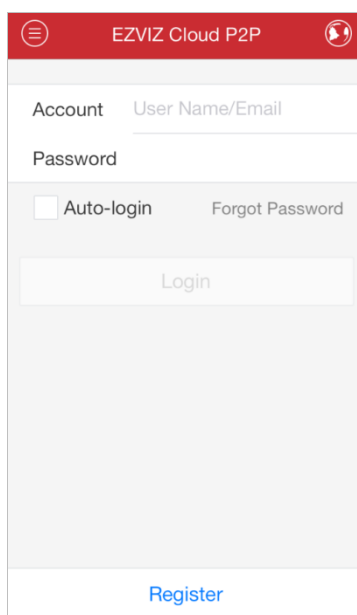
-  再生ビデオの画像をキャプチャーします。
-  再生を一時停止します。
-  音声コントロール。



3. iPhone を回転して全画面モードにすることもできます。
注意：この機能を実現するには、iPhone の回転ロックを解除してください。

クラウドサービス

本ソフトウェアは、クラウドアカウントの登録、クラウドへのログイン、クラウドサービスを支援するデバイスの管理をサポートします。

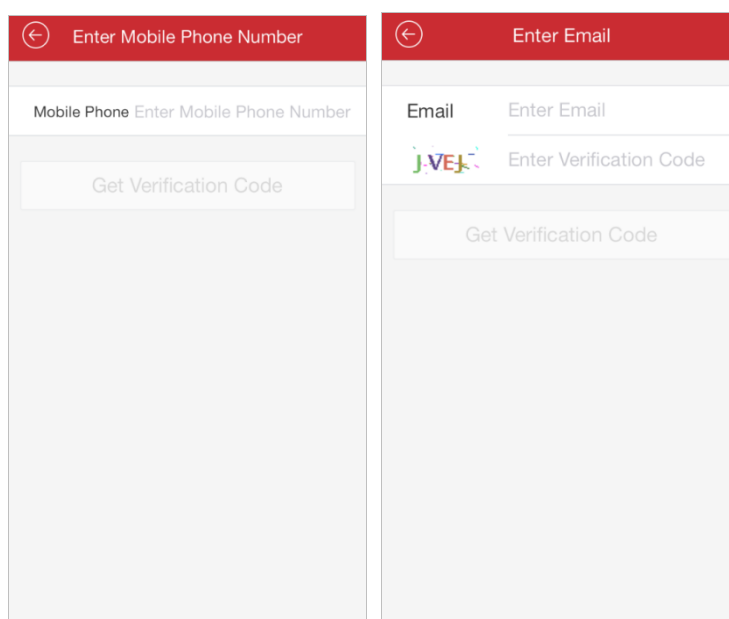


アカウントの登録

クラウドアカウントをお持ちでない場合は登録することができます。

手順：

1. をクリックして、EZVIZ Cloud P2P を選択し、「クラウド」インターフェイスに入ります。
2. インターフェイスの右上で か をクリックし、サービスエリアを選択します。
注意：お住まいの場所に応じてサービスエリアを選択してください。
3. **登録**をクリックして、アカウント登録インターフェイスに入ります。
「中国服务区」を選択する場合：携帯電話番号を入力し、**認証コードの取得**をクリックして、携帯電話で受信した認証コードを入力します。
「海外」を選択する場合：Eメールアカウントを入力し、認証コードを撮影します。
認証コードの取得をクリックして、Eメールで受け取った認証コードを入力します。
注意：認証コードの画像がはっきりしない場合は、**更新**をクリックして、新たな画像を取得することができます。



4. クラウドアカウントのユーザー名とパスワードを設定して、登録が完了します。



ログイン

手順：

1. インターフェイスの右上で か をクリックし、サービスエリアを選択します。
2. ユーザー名、Eメールアカウントか携帯電話番号を入力し、パスワードを入力して**ログイン**をクリックします。
注意：

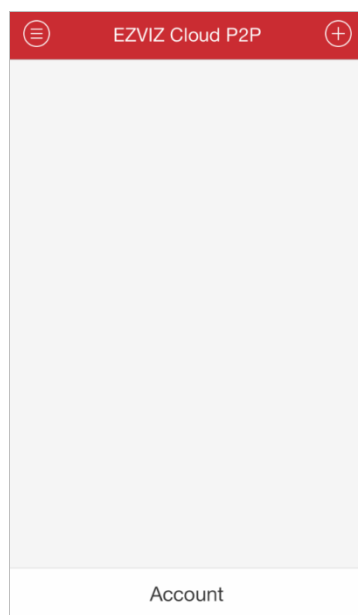
- 自動ログインチェックボックスにマークを入れると、ユーザー名とパスワードが記憶させ、自動的にログインします。
- パスワードを忘れたら、パスワードの忘れた場合をクリックして、アカウントを確認し、パスワードをリセットします。

デバイス管理

1.  をクリックし、お使いの携帯電話を使用し QR コードとスキャンフレームを合わせて、デバイスラベル上のシリアル番号をスキャンします。もしくは、 をクリックし、デバイスのシリアル番号 (9 桁) を入力し、検索をクリックしてデバイスを検索することもできます。

注意：

- クラウドサービスに支援するデバイスのみが追加できます。
- デバイスは、1つのクラウドアカウントにしか追加できません。



2. 正しく追加されたデバイスは「デバイス管理」インターフェイスに表示され、ライブビュー開始をクリックすると、そのデバイスでライブビューを表示されます。
3. 「デバイス」インターフェイスで、デバイスを選択し、項目をスライドして、削除ボタンにアクセスします。削除をクリックすると、選択されたデバイスが削除されます。

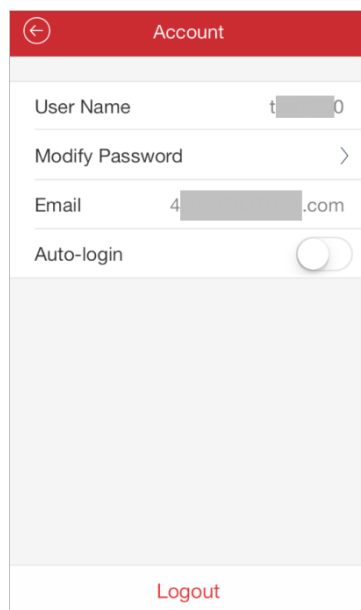
アカウント管理

アカウントをクリックすると、クラウドアカウントが管理できます。

パスワードの変更をクリックするとパスワードが変更できます。

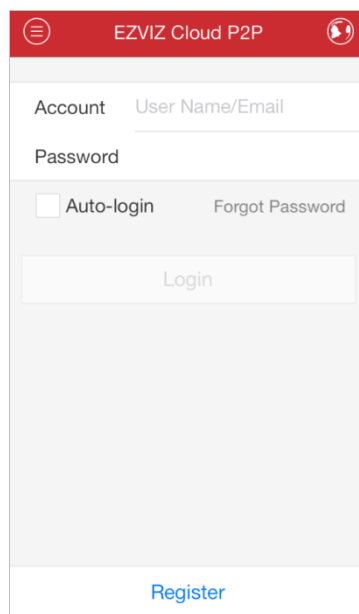
を に設定すると自動ログインが有効化されます。

クラウドからログアウトするには、**ログアウト**をクリックします。



第9章クラウドサービス




本ソフトウェアは、クラウドアカウントの登録、クラウドへのログイン、クラウドサービスを支援するデバイスの管理をサポートします。

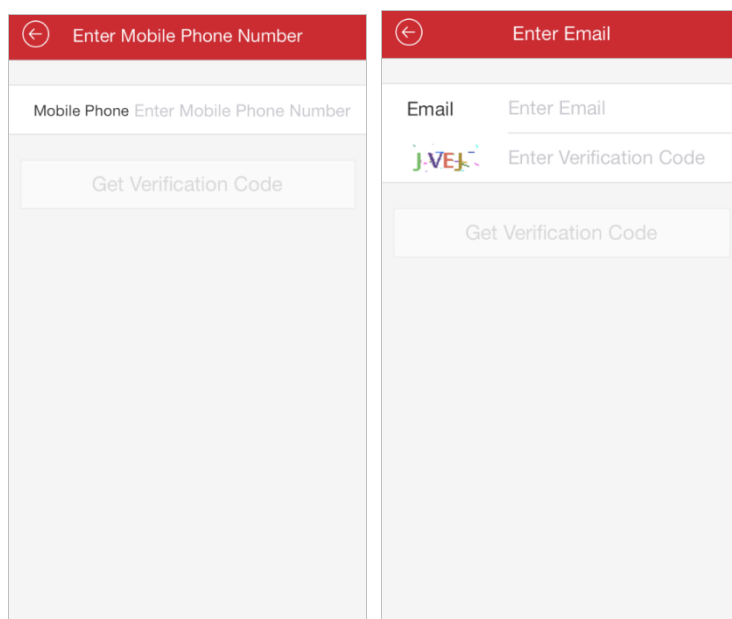


アカウントの登録

クラウドアカウントをお持ちでない場合は登録することができます。

手順：



5.  をクリックして、EZVIZ Cloud P2P を選択し、「クラウド」インターフェイスに入ります。
6. インターフェイスの右上で  か  をクリックし、サービスエリアを選択します。
注意：お住まいの場所に応じてサービスエリアを選択してください。
7. **登録** をクリックして、アカウント登録インターフェイスに入ります。
「中国服务区」を選択する場合：携帯電話番号を入力し、**認証コードの取得** をクリックして、携帯電話で受信した認証コードを入力します。
「海外」を選択する場合：Eメールアカウントを入力し、認証コードを撮影します。
認証コードの取得 をクリックして、Eメールで受け取った認証コードを入力します。
注意：認証コードの画像がはっきりしない場合は、**更新** をクリックして、新たな画像を取得することができます。



- クラウドアカウントのユーザー名とパスワードを設定して、登録が完了します。

ログイン



手順：

- インターフェイスの右上で  か  をクリックし、サービスエリアを選択します。
- ユーザー名、Eメールアカウントか携帯電話番号を入力し、パスワードを入力してログインをクリックします。

注意：

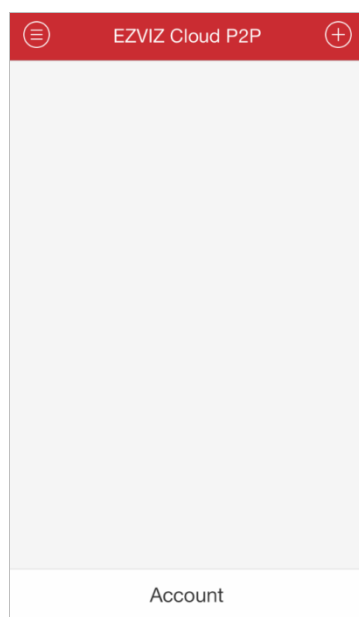
- 自動ログインチェックボックスにマークを入れると、ユーザー名とパスワードが記憶させ、自動的にログインします。
- パスワードを忘れたら、パスワードの忘れた場合をクリックして、アカウントを確認し、パスワードをリセットします。

デバイス管理

-  をクリックし、お使いの携帯電話を使用し QR コードとスキャンフレームを合わせて、デバイスラベル上のシリアル番号をスキャンします。もしくは、 をクリックし、デバイスのシリアル番号 (9 桁) を入力し、検索をクリックしてデバイスを検索することもできます。

注意：

- クラウドサービスに支援するデバイスのみが追加できます。
- デバイスは、1つのクラウドアカウントにしか追加できません。



5. 正しく追加されたデバイスは「デバイス管理」インターフェイスに表示され、**ライブビュー開始**をクリックすると、そのデバイスでライブビューを表示されます。
6. 「デバイス」インターフェイスで、デバイスを選択し、項目をスライドして、**削除**ボタンにアクセスします。**削除**をクリックすると、選択されたデバイスが削除されます。

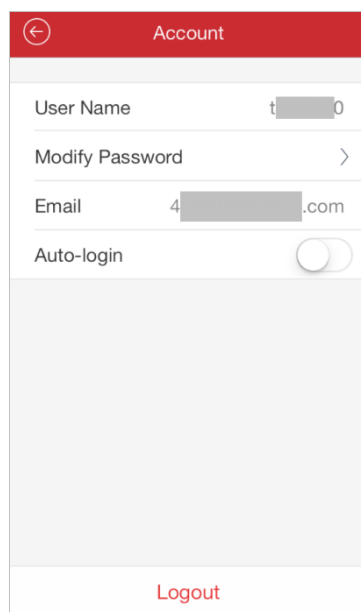
アカウント管理

アカウントをクリックすると、クラウドアカウントが管理できます。

パスワードの変更をクリックするとパスワードが変更できます。

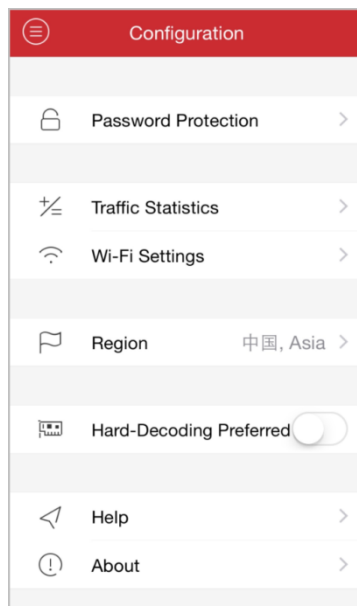
を に設定すると自動ログインが有効化されます。

クラウドからログアウトするには、**ログアウト**をクリックします。



第 10 章 システム設定

「設定」インターフェイスでは、パスワード保護と E メールフィードバックの設定、トラフィック統計の確認、Wi-Fi 設定、地域の選択、ハードウェアデコードの有効化とソフトウェアのバージョン情報、ヘルプファイルおよび新機能の表示が実行できます。

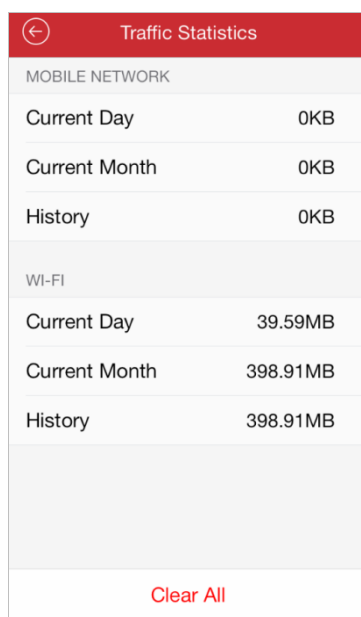


トラフィック統計の確認

ライブビューと遠隔再生中に消費されるネットワークトラフィックを確認することができます。モバイルネットワークトラフィックと Wi-Fi ネットワークトラフィックを別々に確認できます。

手順：

1.  をクリックして、**設定**を選択し、「設定」インターフェイスに入ります。




Traffic Statistics	
MOBILE NETWORK	
Current Day	0KB
Current Month	0KB
History	0KB
Wi-Fi	
Current Day	39.59MB
Current Month	398.91MB
History	398.91MB
Clear All	

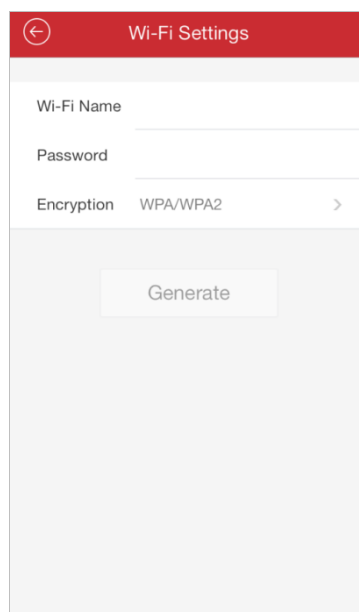
2. **トラフィック統計**をクリックして、「トラフィック統計」インターフェイスに入ります。記録されたトラフィックデータのリストが表示されます。
モバイルネットワーク：ライブビューと遠隔再生中に消費されるセルラーデータが表示されます。
Wi-Fi：ライブビューと遠隔再生中に消費される Wi-Fi データが表示されます。
当日：今日消費されたトラフィックデータが表示されます。
当月：今月消費されたトラフィックデータが表示されます。
履歴：本ソフトウェアを使い始めてから消費されたトラフィックデータが表示されます。
3. (オプション) **すべてクリア**をクリックするとデータが空にすることができます。

Wi-Fi 設定

本ソフトウェアは Wi-Fi ネットワークの QR コードを生成する機能を提供します。ネットワークカメラは QR コードをスキャンして簡単に Wi-Fi ネットワークに接続することができます。

手順：

1.  をクリックして、**設定**を選択し、「設定」インターフェイスに入ります。
2. **Wi-Fi 設定**をクリックして「Wi-Fi 設定」インターフェイスに入ります。



3. Wi-Fi 名 (SSID と呼ばれる) と Wi-Fi ネットワークのパスワードを入力し、暗号化タイプ (ルーターの設定と同じ) を選択し、**生成**をクリックして Wi-Fi ネットワークの QR コードを生成します。

注意: 暗号化タイプとして NONE を選択した場合、Wi-Fi のパスワードは必要ありません。

4. QR コードをスキャンすると、このネットワークにネットワークカメラを接続することができます。


注意:

- この機能は、ネットワークカメラでサポートされている必要があります。
- カメラの詳細な操作方法については、ネットワークカメラのユーザーマニュアルをご覧ください。

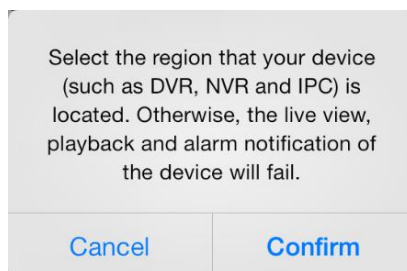
地域

デバイスが配置されている地域を変更することができます。

手順:

1.  をクリックして設定を選択し、「設定」インターフェイスに入ります。
2. **地域**をクリックして、「地域」インターフェイスに入ります。
3. 該当する大陸から国を選択します。

注意: 地域を選択すると、ヒントボックスがポップアップ表示されます。デバイスが配置されている地域を選択したことを確認し、**確認**をクリックします。



ハードウェアデコード

ライブビューや再生時に HD ビデオを再生する場合、ハードウェアデコードによって、デコードパフォーマンスが向上し、CPU 使用率が低下する可能性があります。


優先ハードデコードの を切り替えて に設定すると、ハードウェアによるライブビューと再生のデコードを有効にすることができます。

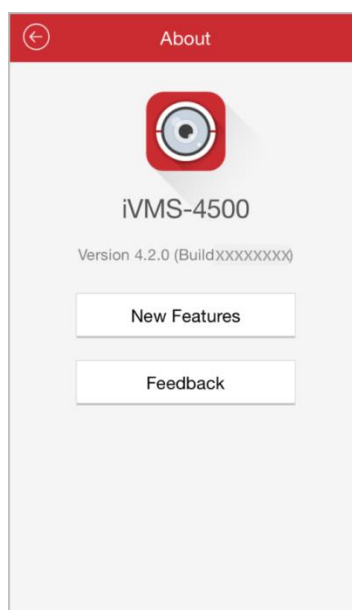
注意：

- ハードウェアのデコードには、iOS 8.0 以上のバージョンが必要です。それがインストールされていない場合はこのオプションは表示されません。
- ハードウェアデコードは、704x576、704x480、640x480、1024x768、1280x720、1280x960、1920x1080、2048x1536、2560x1920 の各解像度に対応します。その他の解像度では、ソフトウェアのデコードに切り替わります。

新機能とヘルプ

手順：

1.  をクリックして設定を選択し、「設定」インターフェイスに入ります。
2. **iVMS-4500** についてクリックして、「iVMS-4500 について」インターフェイスに入ります。
3. 「iVMS-4500 について」インターフェイスで**新機能**をクリックして、本ソフトウェアの新機能が表示されます。



4. 「設定」インターフェイスでヘルプをクリックすると、「ヘルプ」インターフェイスに入ります。本ソフトウェアのヘルプが表示されます。

フィードバック

本ソフトウェアの使用中に問題やご提案がありましたら、「iVMS-4500 について」インターフェイスのフィードバックをクリックしてEメールを送信してください。当社の技術エンジニアができるだけ早くあなたの問題や提案を処理します。

付録

バージョン履歴

V4.2

追加新機能：

1. iPhone と同じローカルエリアネットワーク内にあるオンラインデバイスを検索し、追加し、そのネットワークパラメータを編集することができます。
2. ライブビューと再生のためのハードウェアデコードを提供します。
3. ライブビュー中に、ネットワークや携帯電話ハードウェアのパフォーマンスに応じて、EZVIZ デバイスのクリアや滑らかさなどの画質タイプの調整することができます。

V4.1

追加新機能：

1. iVMS-4500 ソフトウェアを初めて実行する際、地域の選択を提供します。また、設定ページで地域を変更することもできます。
2. デバイスの Wi-Fi ネットワークを設定とデバイスシリアル番号をスキャンして、自動的に追加することができます。

V4.0

追加新機能：

1. 新たな体験や便利な操作を提供するため、新たに設計された GUI。
2. ライブビューで 1、4、9、16 のウィンドウ分割モードを提供し、同時に 16 台までのカメラが表示できます。
3. 録画ファイルの遠隔再生でウィンドウの 4 分割が行なえ、同時に 4 台までのカメラで録画ファイルが再生できます。
4. 画質調整が、クリア、滑らかさ、カスタムに簡素化されました。
5. 遠隔再生のスピードが 1/4 倍、1/2 倍、1 倍、2 倍、4 倍に設定できます。希望の再生速度が選択できます。
6. マルチウィンドウ分割モード中は、ウィンドウシーケンスを調整するためのウィンドウをドラッグして移動することができます。
7. デバイスの QR コードをスキャンしてデバイスが追加できます。QR コードは、iVMS-

4200 クラアントソフトウェアやデバイスのローカルメニューから取得できます。

8. 安全性の問題を回避するため、ソフトウェアには Wi-Fi 情報が保存されません。

V3.4

追加新機能：

1. ライブビューや再生中にキャプチャーした画像や録画したビデオは、Eメールに送信することができます。
2. ラインクロス、侵入検知、顔検知、シーン変更検知、音声異常、ピンぼけ検知、PIRアラームもソフトウェアにプッシュすることができます。
3. クラウドアカウントやクラウドデバイスを管理するクラウドサービスが提供されます。
4. ライブビューや再生中に消費されたネットワークトラフィック統計を確認することができます。
5. Wi-Fi ネットワークの QR コードの生成に対応します。

V3.3

追加新機能：

1. ライブビューや再生中にキャプチャーした画像はフォトアルバムに直接エクスポートできます。
2. 多言語 GUI を提供します。追加された言語には、エストニア語、日本語、韓国語、ロシア語、タイ語、繁体中文、トルコ語が含まれます。

V3.2

追加新機能：

1. アラームアラーム通知と情報管理に対応。
2. 画像とビデオのローカルストレージと管理。
3. ライブビューと再生モードの際、ローカル録画に対応。
4. ダブルクリックすると、ライブビュー、遠隔再生、キャプチャー画像のデジタルズームが実行できます。
5. ライブビュー、遠隔再生、ローカル再生のオートロックが無効にできます。
6. 停止後に、選択された全部のカメラで、以前のライブビューを回復することができます。
7. ライブビューや遠隔再生モードでカメラリストを下向きにスライドすると、デバイス状態が更新されます。
8. 背景から切り替えた後に遠隔再生が回復されます。

9. 新しいデバイスを追加することができるように、以前の登録モードが記憶されます。
10. HiDDNS 登録モードに、シリアル番号スキャン機能が追加されました。
11. メインメニューボタン名の表示。
12. 設定や異常状態に関するヒントが追加されました。例えば、ネットワークが異常になると「ネットワーク接続を確認してください。」メッセージが現れます。

V 3.1

追加新機能：

1. 音声コントロールの対応。
2. Eメールフィードバックの対応。
3. デジタルズームの対応。

V 3.0

追加新機能：

1. 便利な操作を提供するため、新たに設計された UI。
2. iPhone5 に対応。
3. 16 チャンネルまでの同期ライブビュー。
4. ページごとのライブビューへの対応。
5. チャンネルゼロのライブ表示への対応。
6. 再生パフォーマンスの最適化。
7. ソフトウェアのクイック操作ガイドと主要機能の表示。
8. 新規バージョンを自動的に確認。
9. ライブビューモード中の画質設定。
10. アラーム出力コントロール。
11. パスワード保護。

変更点：

1. PTZ コントロールの最適化。
2. 「アラーム管理」設定の削除。
3. チャンネル設定の削除。
4. 最初のログイン時の登録キャンセル。